

# 国 労 ち ば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発責 加藤 晃一  
編集 高橋 弘幸  
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043(238)5963  
FAX 043(238)5967

職場の不平・不満、  
何でも話し合えるのが  
国労です!!

# 今こそ職場に労働運動を

## 東日本本部定期大会開催

### 経験と技術を継承し安全を守れ!

8月20日、国労東日本本部は第36回定期大会を新橋交通ビルにて開催した。新型コロナウイルス感染者数に収束の心配が見えないため、昨年に引き続き一部代議員と全ての傍聴者はリモートでの開催となった。

#### 嶋田代議員 (新小岩保線分会)

千葉地本では組合員数が約250名となり、平均年齢も62歳。来年度には国鉄最後の採用者が定年退職を迎える。こうした組織状況に見合った組織の体制強化に向けて実状を見極めながら、「5年先の組織人員」を見据え分会再編を取り組んでいる。

工務協での議論では、分会が広範のため「集まりにくい」という問題

点があるとの声がある。また、木更津保線分会では長年地域の運動もあり、それを残すため「地域分会という形で運動を」との議論もあり、「異業種である地域分会を結成しても、工務協に集まれば同業種の議論ができる」ため、組合員が減少する中でも工務協にこだわらない分会のあり方を模索している。

次にエルダー問題。JR東日本・貨物では社員の世代交代が急速に進み、国鉄時代からの経験豊富なエルダー社員を含むベテラン社員が減少し、外注化や委託化が進んでいる。それゆえに経験不足や過去に発生した事故の教訓が風化することが懸念され、技術継承の面からも本体エルダーは必要だ。しかし、JR東日本は「エルダー制度は出向が基本」と、永年業務に精通してき

た社員の経験と技術継承を重視しないばかりか経験したことのない職種への配属からストレスを抱え、退職を余儀なくされる仲間もいる。

JRは発足35年の節目を迎え、国民の半分が国鉄を知らない世代となる中、安全・安定輸送を確保し、労働条件改善をしてきた国労の功績と労働組合の必要性を労組未加入の労働者に訴え、国労に迎え入れることが最重要課題だ。

#### 飯田代議員 (大網保線分会)

はじめに職場全体の環境について。

以前の職場の新小岩保線区は国労組合員が多かったためとても楽しく仕事ができた。

今は各保線職場ともに国労組合員が減り、箇所によっては一人もいないところもある。国労組合員がいな

## 第76回 定期地方大会

日時：9月23日(金) 10時30分より  
受付：10時より開始  
場所：千葉県教育会館303



ところは管理者に意見を言う人がいないため鬱になり仕事を辞める人もでていと聞く。そのような職場を改善するためには組合員が一丸となって組織拡大に務め、団交等で会社に勝てるような組織を築き上げていくことが大切だ。

次に組織再編成について。今年10月に会社全体で組織の再編成が行われる。保線職場でも業務内容が大きく変わり、今までは計画グループのテーブルで工事全般(修繕と改良)をやっていたが再編成後は改良のみで、修繕は線路グループのテーブルで

担当するという。異動者も相次いでいることから現在の業務量でも要員が足りていないのところに修繕も担当させるのは無茶がある。これも要員不足が原因であり大きな問題だ。会社に要員要求し議論していかなくてはならない。

私は今現在、安全担当として業務している。安全担当も組織再編成されると聞いているが今現在でも明確な発表がないまま業務を行い、今後に不安を感じる。これについても組合から会社に議論していきたい。

私自身、まだまだ組織拡大をできていないが、5年後に3分の1に減ってしまうのはとても不安に感じる。

組織拡大は国労組合員全体で頑張っていないといけない。ともに組織拡大に向けて頑張ろう。

8月末をもってエルダー出向丸3年が経つ。保線職場で41年働き、エルダー日本高架サービス。自身の仕事は、ショッティングセンサーシャワー、本八幡の保安警備員で、館内の開店・閉店作業(シャッター・自動ドア開閉)、改札口チャージ機締め作業(JRに現金運搬)、館内巡回、保安室内待機(お客様対応・遺失物処理)等やる事が諸々ある。

▼当日の勤務者は、9時35分～翌日10時5分の泊まり2名、9時35分～16時5分までの日勤1名(火曜・金曜は市川警察会計課へ遺失物回送)の2徹1日勤務の3名体制だが、お客様対応・巡回強化で火曜・金曜には日勤者を1名プラスで対応。▼コロナ禍ではあるが、規制がないため人手が多く、最近ではマスクをしていない方も増えてきているのが気になる。

自己防衛(マスク着用・手指消毒・手袋着用)を徹底しながら、エルダー出向満了まで後2年、職場環境等改善しながら働きやすい職場作りに奮闘したい。【優







# 組合員との活発な議論で体制強化を！

## 拡大分会長会議を開催

8月27日、地本会議室にて拡大分会長会議が開催された。

越川副委員長の開会あいさつと司会で議事が進行された。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から短時間開催としたため委員長あいさつは書面となった。

議題として、北嶋書記長より、①2022春闘及び夏季手当について②社員代表選挙について③会社施策及び交渉経過について④分会再編についての4点が地本大会に向けて提

起された。

続いて各分会代表から発言を受けた。

《分会再編》◆木更津分会に統合される木更津保線を除いた保線分会を一つにしても良いのでは。◆分会で話を

したがまとまらなかった。◆エルダー先がバラバラで同じ仕事をしていない。出向先での分会も。◆労金の出資

金など財政面はどうするの？◆分会再編については保線職場だけでなく施設職場全体で一つでもいい。◆分会再編の対象人数は。再

編の時期は。◆このままだと若い組合員が一人だけ残ってしまう。工務協の中でも議論している。分会再編には

職場に労働運動を残すためという問題意識を持たなくてはいけない。《職場問題》◆券売機

での割引切符の売り方が駅によりまちまちという意見を受け連協でアンケート調査を実施。

◆「みどりの窓口」が無くなり駅により様々対応している中、組合として明確な立場が必要では。◆利用者へのサービス低下を防ぐため機械での販売案内が必要だ、そのため社員

教育が必要になる。職場再編で支社ビルに移ったら休憩室もテレビも無くなった。◆職場の

要員が不明確で3年前には17人いた要員が今は11人に。増える仕事に会社は余分な超勤は

しないように言うが超勤しないと仕事が回らず、生活も出来ない。◆運輸区からのエルダー

出向で分会組合員が一人増えたが、年若い人がいるため日勤で家から近い駅を希望したのに真逆の駅へ配属。配属先が伝えられたのは年休消化時期に入ってから。発令時期を早くすべき。◆10月1日

から始まる券売機での割引切符発売のため実技訓練が9月から始まる。JR本体の君津駅

は一万円を超える払い戻しはしないのに業務委託のJESSは金額制限はない。◆分会掲

示板が女性社員が行きにくい廊下の奥に有る変更を訴えたが、変更は困難と断られた。諦めず求めていく。◆夕

プレットに新シンジャーをインストールするのに要する時間が職場により違う。東労組と共に申し入れると支社は時間内にやれると回答されたが、折待ち時間の労働時間Bとノーペ

田中京平さんです  
労金千葉支店の国労担当者が小山さん(右)から田中京平さん(左)に変わりました。



よろしくお願いいた

幾多の自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、働き方や生活スタイルが変化、公共交通機関の役割が変貌すると言われるが、働き方や労働条件が会社の経営環境や収入動向に左右されることは許されない。私たち労働者の労働力を安価でたたき

組織の再編など地方本部の考え方を提起する。懸案事項を持ち帰り分会で活発な議論をお願いする。そして地方大会に議論経過を持ち寄っていただきたい。特に、今後の組織運営の整備。職場・地域で運動を活発に展開するための体制をどう強化するかを前提に議論をお願いしたい。

今後「首都圏本部」の設置など、組織再編が控えているが職場には不平や不満が渦巻き、「急ぎすぎる変革のスピード」についていけず、あきらめや違和感を抱く労働者も多々いる。労働者の視点で働き方や職場の労働条件を検証し、改善を求めていくため、情報を共有しながら会社に対峙できるだけの団結力を備えていかなければ。

## 委員長あいさつ

加藤委員長  
労働未加入労働者が多い職場に労働運動をどう残すか、2年後・3年後の組織を模索しながら、そのための体制作りと、その先の国労組織の拡大を希求し、あきらめることなく国労らしい運動を展開していくことが重要。

国労にとっても非常に重要な局面を迎える。労働未加入労働者に対し、労働組合の存在意義とその役割を大いに感じてもらう運動を組織的に展開しながら、組織拡大に踏み出す議論をあらためてお願いする。

## 職場間の格差をなくし 出来る事から始めよう

北嶋書記長は、「みどりの窓口」閉鎖に反対してきたが一方的に閉鎖され、教育不足が問題になってきているため勉強会を開くよう要請してきた。習っていないから出来ない・やらない

以上発言に対し、北嶋書記長は、「みどりの窓口」閉鎖に反対してきたが一方的に閉鎖され、教育不足が問題になってきているため勉強会を開くよう要請してきた。習っていないから出来ない・やらない

いという各職場間の違いやJRとJESSとの取扱いの違いをなくさなくてはならない。労金出資金解約は三役の押印が必要など時間がかかるため分会がきちんとしているときにやったほうが良い。エルダー出向先の提示はJESSでは管区名は早い時期に提示されるが就労先の提示は遅いため改善を求めていく。分会再編はできるところから丁寧に進めていくとし、地本大会の活発な議論から判断していくとまとめた。